

私、最初に安参考人にお伺いいたしますが、私たちは、拉致問題において、北朝鮮政府の特殊機関の調査への介入が全容解明の重大な障害となっているというのを繰り返し指摘をまいりました。安参考人は、金正日政治軍事大学で特殊工作員として教育訓練を受けてこられたわけですが、その北朝鮮の特殊機関、これはどういうものなのか、そして現在の日朝間の拉致問題解決の交渉についてどんな影響を与えているのか、詳しく説明いただけたらと思います。

安参考人(通訳) 工作機関と言われている三号庁舎というのは、北朝鮮で最も莫大な予算を使い込んでいる機関であります。そして、私が卒業した金正日政治軍事大学というのはスパイ養成学校でありまして、日本の脅威となる、また国際社会で糾弾しているテロを支援することができる人々を数千人と養成している機関であります。

そして、先ほどの御質問はどんな機関かという御質問だったと思うんですが、余りいい例ではないんですけども、私の能力をもってして、例えば手元に一万円があり、そして日本のスーパーマーケットに入ったとします。スーパーマーケットと薬局に入れば、あらゆる工作に必要なものをすべて買い込むことができますし、爆弾もつくることができます。

そして、爆弾をつくった後に、それをどの装置に入れたらより効果的に破壊力を増すか、どのように仕掛けたらいいかということも十分承知しておりますので、私が本当に決心さえすれば、死傷者をたくさん出すようなこともできます。しかし、私はそれを悪いことだ、悪だと考えているので、決してそういうことはいたしません。そうした能力を持った者が数千人と日本に入国して来た場合、また悪いもくろみを持って来た場合どのようなことが起こるか、想像できます。

しかし、そういった人間が二人、韓国に侵入したときに、韓国は三十万人の大軍をもってして三カ月捜したにもかかわらず、最終的には見つけることができませんでした。そういった同じ出来事が日本で起きた場合、日本がいかに不安に陥り、経済損失が大きいということが容易に想像できます。

赤城委員 今特殊機関についての御説明があったわけですが、それで、現在、拉致問題について日朝間で交渉が進められているわけですが、その拉致問題についての交渉に当たって、今、安参考人が御説明された特殊機関、これはどんな影響を与えているとお考えですか。

安参考人(通訳) 全く残念だと思いますが、もどかしいというのは、北朝鮮の拉致問題の交渉の主体というのは北の外交部ではあるわけなんですけれども、でも、実際には工作部署があり、そこで行ってたわけなんです。ですから、本来なら彼らとその工作をしたということを認めるのが筋だと思うんですけども、そういうことはあり得ないと思います。彼らが自分たちの工作部に損害になるようなことをするのは絶対思えません。

赤城委員 今、交渉に当たっている外交部というお話もありましたが、そこで、これは安参考人、それから西岡参考人、お二人に伺いたいんですが、この拉致問題の交渉を進めていく上で、私たちは、北朝鮮側の交渉担当者を、いわば特殊機関にも真相解明のメスを入れることのできる十分な権限と責任を持った人物にかえて、交渉の質を抜本的に強化するということを日本政府は強く求めていくべきである、このように考えているわけですが、お二人の参考人はどういう御意見でしょうか。

西岡参考人 その共産党の主張は、金正日を政権から外せという主張とイコールだと思います。金正日が三号庁舎の責任者ですから、

金正日も査察できる人間が個人独裁国家の北朝鮮にはいないということで、御意見は、論理としては正しいと思いますけれども、つまり、それはアメリカのブッシュ政権よりもっと強い反金正日的な意見だと思えます。

安参考人(通訳) 私のよう、工作機関で働きながらも自由世界主義のことをよく知っていて、金正日が悪だということをよく知っている先輩、後輩が北朝鮮にはまだ数千人います。ですから、いつかそのうちの誰かが金正日政権を打倒してくれるのではないかと信じております。

赤城委員 時間が参りましたけれども、私たちはその拉致問題も対話を通じて、交渉を通じて、粘り強く進めていくべき、そして両国間には日朝平壌宣言もあるわけですから、今後も対話による解決、そして交渉の障害になっているものを取り除くという形で、障害を克服していくという形で、粘り強く進めていきたいということを申し上げまして、質問を終わります。

赤城委員長 以上をもちまして参考人に対する質疑は終了いたしました。

この際、一言ごあいさつ申し上げます。

参考人各位におかれましては、貴重な御意見を述べいただき、まことにありがとうございました。委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

次回は、公報をもってお知らせすることとし、本日は、これにて散会いたします。

午後零時三十一分散会

[このページのトップに戻る](#)